

令和5年度 学部長と学生との懇談会

「学生参画会議」テーマ

「所属学部での学びに関する知識・経験を広げるための留学」

実施日時：令和5年10月25日（水） 13：00～14：15

場所：大会議室（対面実施）

参加学生数：学部生8名（1年次生3名、2年次生2名、4年次生3名）

司会：池崎学部教務委員長

参加教職員：・諏訪看護学部長

- ・眞嶋評議員
- ・石丸学生生活支援委員長
- ・前原学部教務副委員長
- ・飯野学部教務副委員長
- ・野崎国際活動委員
- ・中村亥鼻地区留学支援担当
- ・事務（戸田学務課長、高橋看護学系事務室長、川名学務係長、近藤係員）

学生 各位

千葉大学理事（教育）
小澤 弘明

令和5年度「学生参画会議」テーマについて

テーマ：「所属学部での学びに関する知識・経験を広げるための留学」

グローバル社会においては、語学力だけでなく、異文化を理解し、多様なバックグラウンドを持つ人々とコミュニケーションを取りながら、言語・文化・価値の違いを乗り越えて、積極的にチャレンジできる人材が求められます。そうした素養を身に付けることができるよう、千葉大学では普遍教育において、学修の基盤となる知識や技能を習得する科目とあわせて、国際認識や文化理解など、グローバル化する社会において基礎となる考え方を学ぶ科目を幅広く提供しています。

また、卒業・修了までに経験する留学において、異文化の中に身を置き、その中でどのように他者を理解し自分を表現するかを試行錯誤する経験も、多様な言語的・文化的・社会的背景をもつ人々と共生する現代社会において、必ず役に立つ力となります。

ただし、留学を自己にとってより価値あるものにするためには、留学すること自体を目的とするのではなく、留学において何を学び、何を身に付けたいのか、そのためにはどのような留学をするのが良いのかを、事前によく考えることが必要です。

千葉大学では、全学部生を対象とする留学プログラムを、外国語や文化を学ぶ「語学・文化体験」、協定校等の学生と社会課題をテーマに学ぶ「協働学修」、インターンシップやボランティアを通じて学ぶ「社会体験」、海外協定校の科目を履修する等により学びを深める「研究」の4つのカテゴリに分け、学生の皆さんがそれぞれの留学の目的に合ったプログラムを選ぶことができるよう、各カテゴリにおいて様々なプログラムを提供しています。また、昨今のパンデミックを受け開発を進めたオンライン留学プログラムにおいては、渡航を伴うプログラムにおいて行う内容を可能な限り実施しているほか、オンラインの特徴を生かし、渡航が困難な地域に関するプログラムや、授業期間中に千葉大学の授業と並行して履修可能なプログラムも提供しています。

このように、全学部生を対象とするプログラムの拡充は進められていますが、それぞれの学部の特色や専門性を生かした留学機会をさらに整備すべく、所属学部における学び・専門分野に関する知識・経験を広げるためにどのような留学がしたいと考えるか、学生参画会議において学生の皆さんの意見を広くお聞きしたいと思います。留学を通して学びたいテーマ・内容、学びの方法、行いたい活動、留学を希望する国・地域・大学、渡航の時期や期間、留学前に学んでおきたいこと、留学後に受けた指導、オンラインの活用等、皆さんの自由な視点で、具体的な提案を聞かせてください。

〔学生の意見〕 提出様式

「所属学部での学びに関する知識・経験を広げるための留学」について、評価、提案等を行ってください。
その際、別紙「令和5年度「学生参画会議」テーマについて」の説明も参考にしてください。

【4年生からの意見】

【学生の意見】

1.留学を通して学びたいテーマや内容

- ・ 諸外国の男性助産師について
- ・ 諸外国の医療保健制度、医療環境
- ・ 諸外国の看護職の役割、裁量権、看護教育
- ・ 外国人患者/多様性を持つ患者への対応

→留学を通して諸外国の制度や看護職の役割を学ぶことで、看護職についての理解を深めたいと考えている学生が多いと考えられる。男性助産師について、外国人患者についてなど、日本よりも取り組みが進んでいることについて学びたいと考えていると分かる。

2.どのような方法で学びたいか（学びの方法）、留学中に行いたい活動

- ・ 実際に病院を見学する、カンファレンスに参加する。病院でシャドウイングを行う。
- ・ 諸外国の医療職者（特に看護師、助産師）にお話を伺う
- ・ 諸外国の看護学生の授業に参加する
- ・ 諸外国の看護学生と交流する

→実際に経験することで学びが深まる

→日本とは違う医療形態や医療職者の働き方を体感できる

- ・ （男性助産師に関して）日本では否定的な意見が多いが、男性助産師を採用している国ではどのような意見があるのか実際に伺ってみたい

→今後どの国でも必要とされる医療の課題を考えることにつながる

- ・ 言語学習

→留学前からの準備に加え、留学中にも医療用語などの学習をすることで、通訳を通さず自分で理解できることが増えたり、正確な学びに繋がったりするのではないか。

3.留学に行ってみたい国

- ・ アメリカ

→医療先進国であるから、看護師の裁量権が広いから、NP の実際の活動を見てみたい

- ・ ヨーロッパ

→フランスでは看護師の勤務形態が日本と違う（夜勤半年続ける→日勤半年続ける、など）ことを知り、実際に働いている看護師に勤務形態についてどう感じているか聞きたい

- ・ノルウェー

→外国人看護師のリクルートが活発に行われているとのことで、患者だけでなく医療職者側の多様性についても学ぶことが出来るのではないかと考えた。

- ・フィンランド

→医療水準が高いため、教育も高い水準で行われていると考えた。

具体的な大学や病院の希望は挙げられなかった。看護教育について、どのような大学で特徴的な教育がされているか、病院の特徴などまでは把握できていない学生が多いと考えられる。しかし、最先端の医療、高水準の教育を期待するなど理由については具体的な意見がみられる。また、日本と異なる制度、働き方について理由が挙げられており、看護方法についてだけでなく、今後の働き方についても留学で知見を得たいと考えているとわかる。

4.希望する渡航時期、期間

- ・2～3年生
- ・3or6ターム（長期休み）
- ・2～3週間程度

→4年生は国試の勉強や卒論、就活などで忙しい

→1年生の3タームなどでは時期が早すぎる（知識がまだ足りない）

→実習で忙しくなる前の時期に経験すべき

- ・1か月

→コア実習で1領域を1か月間の実習で行ったため、同じように事前学習や見学/実習、事後学習を含めた充実したプログラムに参加できそう。

5.留学前に学んでおきたかったこと

- ・簡単なコミュニケーションが取れる程度の英会話（特にリスニング、スピーキング力）
- ・その国の特徴や文化。基本情報。
- ・医療専門英語

6.留学後に受けた/受けたかった指導

- ・特になし

7.オンラインの活用についての意見

- ・現地の方々と実際に話すことでオンラインであっても現地をより身近に感じられた
- ・実際に行けるのであればオンラインではなく実地での留学を体験した方が絶対にいい
- ・オンラインでは、感じられる現地の雰囲気やコミュニケーションを通して得られるものに限界がある

→オンラインはコロナ禍での学習に役立ったが、できたら現地に行くべき

8.その他留学についての自由な意見

- ・もう少し留学費用の補助が欲しい。
- ・看護学部としての留学の情報があまり入ってこない。全学留学プログラムのように、年間でのスケジュールが分かると計画が立てやすいと思います。

〔学生の意見〕 提出様式

「所属学部での学びに関する知識・経験を広げるための留学」について、評価、提案等を行ってください。その際、別紙「令和5年度「学生参画会議」テーマについて」の説明も参考にしてください。

【2年生からの意見】

【学生の意見】

2 学年に尋ねた質問は、留学プログラムとオンライン留学について、留学に関する大学へ求める要望です。留学プログラムについてはすでに留学を経験したかどうかで場合分けしました。結果は以下の通りです。

(すでに経験した)

- ・全学プログラムでアジア諸国での教育を学んだ。看護についての内容ではなかったので、より深くフォーカスしたら看護の専門性を高めることができたと感じる。

(これから経験する)

- ・全学プログラムで英語力や文化の違い、コミュニケーションについて学びたいと考えている。
- ・留学中は現地学生との交流や観光、ホームステイなどを行いたい。
- ・留学先を決める際に優先するものは、国・地域・大学とプログラムの内容・活動が半々であった

(オンライン留学について)

賛成意見

- ・感染症に気を遣う方への配慮になる。
- ・経済的に留学が難しい方でも行えるため、金銭面での問題が解決する

反対意見

- ・オンライン留学から得られるものがわからない。
- ・意味ない
- ・現地の言葉、文化に触れないと学べないことがとても多いから

(大学への要望)

・他大学では現地でボランティア活動を行うプログラムがあった。手指消毒について伝え衛生環境を維持するような活動であり、看護学部としても関連付けて学べるため、そのようなプログラムには興味が沸く

・長期の交換留学や看護留学。単位の交換をして、1 学期分丸々留学に行ってみたい。看護学部ではカリキュラムがぎっしり詰まっており、長期留学の選択肢は無いに等しいが、看護学部でも行くことのできるプログラムは作れないか

- ・ホームステイできるプログラムを増やしてほしい

〔学生の意見〕 提出様式

「所属学部での学びに関する知識・経験を広げるための留学」について、評価、提案等を行ってください。
その際、別紙「令和5年度「学生参画会議」テーマについて」の説明も参考にしてください。

【1年生からの意見】

【学生の意見】

・留学を通して学びたいこと

海外の医療と日本の医療の違いについて

英語を用いたコミュニケーション能力

他国の文化や考え方

行政の保健師の仕事

・行いたい活動

海外の医療従事者との交流 / ボランティア活動

現地の大学で学び、学生と交流すること / 観光 / 文化体験

・留学を希望する国・地域

カナダ / 北米 / ヨーロッパ / 中国語を使う地域 / オーストラリア

アメリカ・イギリスなどの先進国 / スウェーデン / 東南アジア

・留学の期間

1～2週間を希望：75% 2～3週間を希望：25%

・留学前に学んでおきたいこと

英語 / 現地のマナーや注意事項 / 言語と現地の食生活

会話表現 / その国の歴史や宗教 / 医療制度の特色

・留学後に受けた指導

学んだことの復習 / 現地の人との交流の出来具合 / 文化

学んだことを日本の場合に当てはめるなど発展的な学習をしたい

・留学にオンラインを活用することについて

現地に行くことが大切だと思うから反対 / 費用をおさえられる

・不安なこと、聞きたいこと

自分の英語力に不安がある / 積極的に交流できるか不安

いつどのような内容の留学プランがあるのか、はっきり分からない